

# かわばたの風

発行所: 社会福祉法人愛篤福祉会  
 発行日: 令和3年10月31日  
 住所: 北海道夕張郡由仁町川端1002  
 電話: 0123-85-2246  
 メール: kakas\_01@aitokufukushikai.jp

▼コロナ感染者が急に少なくなり、あちこちの観光地が賑わい始めました。また次の波が来るかも知れないという危機感を他所に、「我慢の暮らし」から解放された人は渋滞覚悟で紅葉狩りの観光地へ。

▼長い自粛生活、行動規制、人が人を疑いながら暮らす社会はどこか異常だ。「新型コロナウイルスの感染」は、ともすれば命に関わることから皆が耐えた。頑張ったと言ってもいいだろう。

▼ただ、世界の人は少なくとも一度は頭を過ったのではないだろうか。ウイルスの恐怖や温暖化による気候変動、殺伐とした人間関係、飽くなき経済活動、それらは何を意味し含んでいるか、そして地球はどうなるのか過ったことはありませんか。

▼人間の命は高々、100年、とはいえ、自分の生きている間は大丈夫だ、死んでからのことは知らん、とよく人は言うが、限りある時間の中で「人間にとって大切なものは何だろうか」と考えて見るのもいいのではないか。

▼基本的なこと、人は幸せになるために生まれてきた。ただ人間の「欲」だけが頭の中の判断を狂わせてしまふ。更に欲の連鎖が破滅の道に入ると警鐘を鳴らす人もいる。気が付くべきではなかったか、短い人生の中で何が幸せと呼べるものだったのかを。

理事長 遠藤 節子

## 緊急事態宣言解除

コロナ第5波が落ち着き始め、感染者が徐々に少なくなってきました。全道に出ていた緊急事態宣言が解除となり、法人本部から届いた公用車で、紅葉狩りや食事など、約2年振りの社会体験活動を再開したいと思います。ただし『ソーシャルディスタンス』は必ず守りましょう！



沙羅の会会長

長谷川 雅子

今月、愛篤福祉会の事業のため、側面から応援しようとして一般の方々から「沙羅の会」を立ち上げて下さいました。

主に企業の方々から賛同して下さり愛篤福祉会の最後の事業として「知的障がい者の最期の施設」を作るため多くのご理解を頂いておりますことを感謝申し上げます。

多くの方々には、障がい者の存在を知っていても、どのように暮らし、どのような環境で亡くなっているかほとんど知りません。地域福祉の推進は地域の中の孤立を生んでおりました。自立のために就労の場は提供されておりますが、人間性も高齢になれば孤独になります、そして体も衰弱してまいります。一人では生きていけない子どもを案じて30年近く「安らかな場づくり」の活動をしている親御さんの思いを成就させたく、協力することに致しました。私たちにできること、親御さんに代わって「声を出すこと。そしてこの輪を盛り上げること。どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。

利用者さんには楽しく夕食をとっていただき、健康でいてほしいと願っています。健康を考え、塩分控えめの味付けになってしまふこともありすが、利用者さんには「美味しい！」と感想を頂いています。夕食作りを始めて、良かったことがありますが、調理している時間が、利用者さんとのたわいのない話やちよつとした手伝いをして頂く時間になり、家族団欒のようになつたことです。夕食作りの嬉しい副産物です。

加藤 友設

KAKA'sでは現在、職員が交代で夕食を作り利用者さんと一緒に食べています！



## 11月の予定

- 5日 工賃支給
- 15日 避難訓練
- 27日 工賃会議  
お茶会
- 30日 インフルエンザ  
予防接種

## 風だより

今年、北海道沿岸の赤潮の発生が原因で秋鮭やウニが大量死してしまい、漁業関係者に大きな損害をもたらしました。庶民の味方「さんま」はなかなか手に入りづらくなり、北海道では捕れなかつた「ぶり」が大漁でした▼海水温が高くなつてきている影響だとニュースで知りました。ある国会議員が、「温暖化の影響で北海道の米が美味しくなつた」と良いことのように話しているのを見て、もっと危機感を持つべきだと思います。世界には海水が2cm上昇しただけで、沈んでしまつ島国があるのですから。



こうようしゅ き 公用車<sup>き</sup>が来たので、 てんき い ひ もみしが 天気<sup>い</sup>が良い日に紅葉狩りに行きました(\*^~^)



やきにくかい  
焼肉会



ことし あきこうれい やきにくかい  
今年も秋恒例の焼肉会をしました。  
すみび や 炭火<sup>にく</sup>で焼いたお肉はとてもおいしかったです！



ちゃかい  
お茶会 ハロウィンバージョン

メニューは手作りのバナナパンケーキと  
かぼちゃプリン！

